



【先週 4月26日～5月2日の外食の出来事】

■幸楽苑、役員報酬と社員給与減額 新型コロナで業績低迷

ラーメン店を展開する幸楽苑は役員報酬や社員給与を減額すると発表した。対象は社外を含む取締役や監査役など役員10人と正社員約1000人。パート・アルバイトを含む全従業員約8300人の今夏の賞与支給も取りやめる。

■ブロンコビリー、第1四半期(2020年1月～3月)の業績 減収減益

2020年12月期 第1四半期の業績は売上高50億5600万円(対前年同期比10.2%減)、営業利益3億5100万円(同40.7%減)、経常利益3億7100万円(同38.9%減)、四半期純利益2億3000万円(同39.5%減)であった。

■ロイヤル、GW期間の店内飲食休止 政府の移動制限に協力

ロイヤルホストとカウボーイ家族では、20時までテイクアウトのみの営業。てんやではテイクアウトとデリバリーの営業。シズラー、シェイキーズは全店休業。緊急事態を5月6日で終了させようとする日本政府に協力する。

■2020年3月の外食売上高、前年比82.7%と5ヶ月ぶりに前年を下回る JF

3月度は、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、外食の全体売上は82.7%と東日本大震災の減少幅(前年比89.7%)を上回る減少となった。4月は休業や時短営業により、更に大幅な売上減少が予想される。

■LINE傘下の出前館、手数料を5/1から引き下げ

「出前館」が、5月1日から、配達代行手数料を現行の商品代金の30%から、23%に引き下げる。10月31日(土)までの期間限定。新型コロナウイルスによる営業時間の短縮が広がる一方で、デリバリー需要が拡大している。

■テイクアウト用酒販免許、申請1万件超え クラフトビール、地酒で量り売りも

テイクアウト用酒類の販売免許の申請が国税庁に殺到し、4月24日までに1万1400店舗となったという。ワインや焼酎・日本酒のボトル売りだけでなく、スーパーなど小売業とは異なる販売方法を採用する店舗が出てきた。

■新潟の酒卸、美濃屋支店破産 飲食店コロナ自粛に連鎖

新潟県的美濃屋支店が4月27日、破産手続開始決定を受けた。負債総額1億4900万円。業績の改善が見られない中で、代表が入院し、新型コロナ感染拡大の影響で4月末の決済の目処も立たなくなり、事業継続を断念。

■ウルフギャング、タクシーデリバリー開始 送料3,300円はワイン値引きでカバー

「ウルフギャング・ステーキハウス」の東京都内3店舗で、「日本交通」と協力し、タクシーによる都内初のデリバリーサービスを4月28日(火)より期間限定でスタートさせる。タクシーによるデリバリーサービス都内第1号。

■ドン・キホーテ、休業中の飲食店バイトを短期採用 生鮮・惣菜コーナーで起用

「ドン・キホーテ」が、新型コロナウイルスの影響により営業を自粛している飲食店アルバイトを、全国の店舗の生鮮・惣菜コーナーでのアルバイトとして5月1日(金)から募集する。短期バイトとして採用し、給与も週払い可とする。